

# はい！ ポーズ😊

## 4月生まれのみんな お誕生日おめでとう。



あんどう あきら  
安藤 光くん H16.4.6生  
悪い事をする時はいつも“ニヤリ”と笑っています。お姉ちゃんが好きでいつも後を追っかけています。お姉ちゃんに負けないように元気に大きく育ててね。  
明智町吉良見  
安藤 隆光さん・美和子さん



ほほ ゆうき  
保母 祐輝くん H16.4.14生  
お兄ちゃんが大好きで、後について行って同じ事をして遊んでいます。いつまでも兄弟仲良くしててくださいね。  
飯地町西山  
保母 伸治さん・美奈さん



こじま しゅうた  
児嶋 秀太くん H15.4.10生  
外で遊ぶのが大好きで、とても元気な子です。  
大井町上町  
児嶋 秀彰さん・みはるさん



みやち なつみ  
宮地 菜摘ちゃん H15.4.22生  
ちょっぴりおてんばなところがありますが、これからもお兄ちゃんたちと一緒に仲良く遊んでね。  
武並町竹折陽光  
宮地 広和さん・里江子さん



きむら みゆう  
木村 美友ちゃん H15.4.11生  
陽気で元気な女の子です。お姉ちゃんのまねをしてちょっぴりお茶目な娘です。いつまでも仲良しの姉妹でいてね。  
長島町永田桜台  
木村 崇幹さん・早千江さん



あんどう はるま  
安藤 陽真くん H15.4.24生  
生まれてきてくれてありがとう。いっぱい遊んで大きくなあれ。  
上矢作町漆原  
安藤 太陽さん・麻美さん



たなか みさき  
田中 美咲ちゃん H16.4.14生  
みーちゃんと出会えてもう1年が経ちますね。すごく幸せな時間が過ぎていきます。そのとびきりの笑顔がこれからもいっぱい咲きますように。  
長島町永田  
田中 勝和さん・恵美さん



とやま わかな  
遠山 若夏菜ちゃん H16.4.26生  
晴菜姉ちゃんと遊ぶことがうれしくてたまらない。どこまでも突き進んでいくハイハイがたくましい。にこにこ笑顔が最高！周りのみんなを幸せにしてくれます。  
岩村町飯羽間4  
遠山 唯史さん・直美さん



つげ ふゆや  
柘植 楓矢くん(左)H16.4.18生  
元気いっぱい兄弟です。いつまでもかわいい笑顔を見せてほしいな。  
大井町鴨田



さくや  
桜哉くん(右)H15.4.3生  
柘植 計也さん・静香さん



みうら りんか  
三浦 鈴花ちゃん H16.4.29生  
うちのやんちゃ娘はお兄ちゃん大好き。最近はおもちゃのラッパを吹くのがマイブームです。みんなにかわいがられてスクスク育ててね。  
大井町新栄町  
三浦 和博さん・恵津子さん

このコーナーでは、1歳・2歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。5月に誕生日を迎えるお子さんの写真に住所(自治会)氏名、生年月日、電話番号、両親の氏名と簡単なコメントを添えて、4月15日(金)までに申し込みください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。申し込み・問い合わせ 〒509-7292市役所秘書広報課広報係(内線311・古屋)



世界らん展で2年連続入賞  
農高のランにこの人あり

## さか い とみ ぞう 酒井 富造さん

恵那農高園芸科学科実習教諭・58歳

二月に東京ドームで開催される「世界らん展日本大賞」。恵那農業高校はディスプレイ部門オープンクラスで今年、堂々三位の優良賞を受賞した。それは園芸科学科実習教諭、酒井富造さんの功績によるところが大きいという。「今では主と呼ばれています」と照れ笑う酒井さんは、昭和四十一年の恵那農高開校以来三十八年間、園芸の指導に当たってきた。

「花とほほえみと真心のある学校」を教育目標とする恵那農高では、開校以来、ランの栽培に力を入れてきた。現在はシンビジウム、コチヨウランなど四種類、四千鉢のランを生徒に指導しながら栽培している。「鉢の数は恐らく全国一ではないか」と酒井さんは自負する。数が多い分世話が大変だが、「花の色や形、種類も多く、いろいろな組み合わせが楽しめる」と面白くランの魅力を語る。

恵那農高は平成十二年、世界らん展アマチュア部門の最優秀賞を獲得。翌年からは商業用のランを栽培する組合や協会と競うオープンクラスへ部門を替えた。

毎年大規模な出展を続けることは大変だ。中でも暮れに咲く品種の開花を遅らせたり、三、四月に咲く花を早く咲かせたりと、二月の開催に合わせて開花を調節することが難しい。

# ラン飾りの頂点を目指して



市長への入賞報告に生徒と訪れた酒井先生(左端)

いという。さらに飾り付け用の枯れ木やコケを採りに行くなど開催前の数ヶ月は忙しい日々が続く。それでも世界らん展によって恵那農高の名は高まり、今では全国各地から多くの関係者が視察に訪れるという。

「作品に物語がないと上手には飾れない。一面を見せるだけではなく、どこから見てもポイントがあるように飾る必要がある」と語る酒井さんのモットーは「人のまねをしない」こと。常に新しいことに挑戦し続けている。「賞をとることだけが大切ではないが、一年後、三年後には東京ドームで日本一を目指します」と力強く語った。